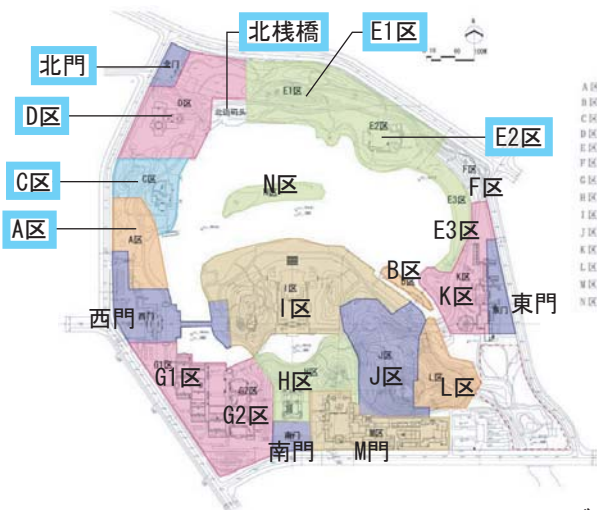
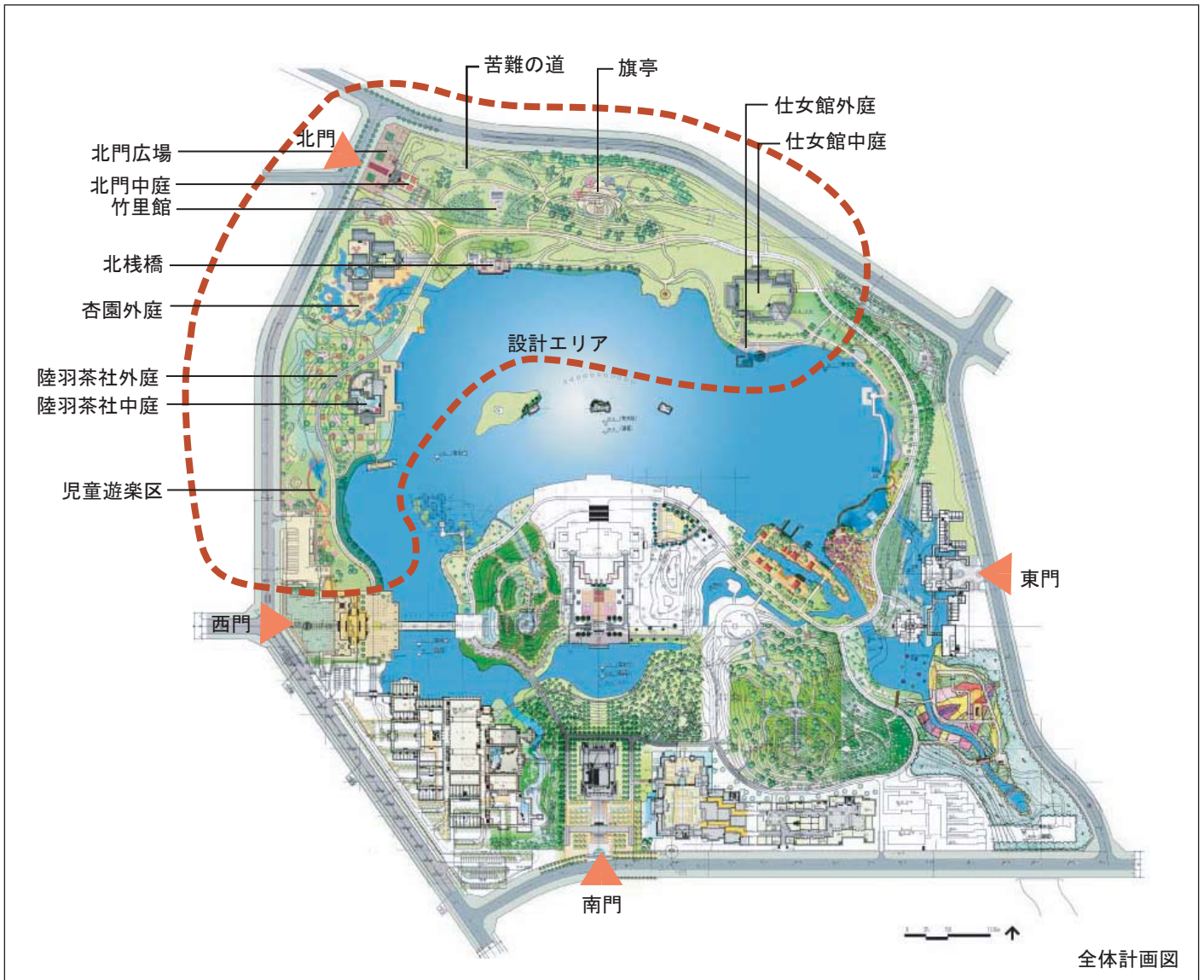




# 西安大唐芙蓉園

- ・基本計画 2004年3月
- ・基本設計 2004年4～5月
- ・設計監理 2004年6月～2005年3月
- ・開園 2005年4月11日
- ・面積:67ha
- ・事業主:陝西省・所在地:西安市

大唐芙蓉園は「長安」として知られた古都・西安市に唐代の様式を再現した中国初の庭園型テーマパークとして計画された。計画地は唐代に実在し、皇帝と市民がともに楽しんだといわれる「芙蓉園」遺跡の北側に建てられた。敷地面積は1000畝（約67ヘクタール）、うち池など水面の面積は300畝（約20ヘクタール）。投資総額13億元。園内は12エリアに分かれ、それぞれテーマが設定されており、盛唐期（713～766年）の文化的繁栄をさまざまな角度から表現している。また、園内には中国最大規模の唐代建築のレプリカ群があり、唐代の各時期・各様式の建物がすべて揃っている。このうち6エリア+1地区について基本計画及び基本設計を行った。



ゾーニング図

